

新潟県 教員等育成指標のフレームについて(案)

教育公務員特例法等の一部を改正する法律により、教員等の任命権者（教育委員会等）は、校長及び教員の職責、経験及び適性に応じてその資質向上を図るための必要な指標を定めることとされたもの（平成29年4月1日施行）

目的

《教育委員会》

- ・教員研修計画の立案、各研修の到達目標や内容を定める際の指標として活用

《学校》

- ・校内研修、校内OJTの指標として活用

《教員》

- ・各期の必要な資質能力を把握し、教員自らが資質能力の向上を図っていく上での指標として活用

背景・課題

○大量退職・大量採用の影響による経験の浅い教員の増加

○学習指導要領の改訂による教育課程・授業方法の改革への対応

○特別な教育的ニーズのある児童生徒の増加

○いじめによる重大事案の発生や問題行動の増加 等

新潟県の教員に求められる資質能力



キャリアステージの区分

採用段階

第1期
基礎形成期

職務の遂行に必要な実践的指導力の基礎の確立

第2期
能力伸長期

専門的知識・技能に基づく実践的指導力の向上

第3期
能力充実期

学校運営の参画に向けた実践的指導力の充実

指標策定範囲： 共通指標、校長の2種類を作成

新潟県教員育成指標（教諭）

区分	観点	着任時	第1期	第2期	第3期
			基礎形成期	能力伸長期	能力充実期
			職務の遂行に必要な実践的指導力の基礎の確立	専門的知識・技能に基づく実践的指導力の向上	学校（園）運営の参画に向けた実践的指導力の充実
			1年目～5年目	6年目～12年目	13年目～
教員としての基盤	学び続ける教員の重要性について理解し、理想の教師像や目指す授業に向けて常に努力し続ける				
	教育公務員としての崇高な使命を自覚し、教職への誇りと情熱、児童生徒への愛情をもつ				
	高い倫理観をもち、法令を遵守するとともに、服務規律を徹底し、責任をもって自らの職務を果たす				
	コミュニケーションを大切にしながら、周囲との信頼関係を構築する				
学習指導	授業構想 (記載例)	学習指導要領の趣旨や目標を理解している	児童生徒の実態を把握した上で、単元等のまとまりで育む資質・能力とねらいを明確にした授業を立案する	身近な社会や生活につながる授業等、児童生徒の主体的な学びを導く単元の構想を立てる	学校や地域の学習指導上の諸問題を把握し、校内の教育課程や授業づくりについて、組織的に実践を進める
	授業実践				
	評価・改善				
生徒指導	児童生徒理解、多様性理解				
	特別支援教育				
	いじめ等の問題行動への対応				
	進路指導及びキャリア教育 (記載例)	キャリア教育の趣旨を理解している	児童生徒の夢や思いを受け止め、率先してキャリア教育に取り組む	キャリアカウンセリングをとおして、児童生徒の進路や将来に適したキャリア教育を実践する	小・中・高の連携を図りながら、自校のキャリア教育の指導計画の整備に参画する
学校運営	学級経営・学年経営				
	教員間の連携・協働				
	家庭、地域連携				
	学校安全、危機管理				